

参加
無料

産婆・助産婦の近代を掘り起こす 3

歴史から学び助産師の将来について考える

「産婆助産婦歴史研究会」は、助産師の歴史的な資料をデジタル化する作業を進めてきました。また、「助産の歴史研究会」は、『大日本産婆会総会並大会々誌』の読書を通じて歴史から多くの学びを得ました。このシンポジウムではその成果を多くの方々と共に、助産師の将来に向けて意見交換を行いたいと考えます。

プログラム（受付 13時15分から）

はじめに 高田昌代（13時30分～13時35分）

第一部（13時35分～14時55分）

・助産師にとって歴史的思考の重要性と将来の方向性
（岡本喜代子・東京都助産師会館）

・「助産の歴史研究会」の設立の経緯と勉強会の概要について
（高田昌代・神戸市看護大学）

・『大日本産婆会総会並大会々誌』から学んだこと1
（池田智子・神戸市看護大学）

・『大日本産婆会総会並大会々誌』から学んだこと2
（小笠原百恵・関西看護医療大学）

休憩（14時55分～15時5分）

第二部（15時5分～16時25分）

・NMECの研究成果公開について
（国立女性教育会館 女性アーカイブセンター）

・東京府産婆会の組織化と分裂、そして再統合
（大出春江・大妻女子大学）

・健康保険・国民健康保険をめぐる産婆たちの動き
（松岡悦子・奈良女子大学）

・産婆雑誌にみる「戦争の現れかた」―『補習産婆学雑誌』を手がかりに―
（田間泰子・大阪公立大学）

おわりに 大出春江（16時25分～16時30分）

2025.3.15 (土) 13:30～16:30
神戸国際会館 805会議室

定員50名(先着順) 締め切り 3月13日
事前申し込みは <https://qr.paps.jp/71quc>
左のQRコードからも可能です
問い合わせ: 高田昌代 mtakada@tr.kobe-ccn.ac.jp



共催: 科研費基盤(B)「近現代日本の出産記録の歴史社会学的研究—リプロダクティブヘルスの実質化にむけて」24K03193「産婆助産婦歴史研究会」(代表・大出春江)
「助産の歴史研究会」(代表・高田昌代)